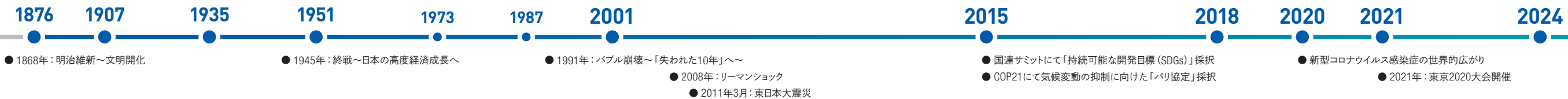


DNPグループの価値創造ストーリー

変革の軌跡

出版印刷業からP&Iイノベーションへビジネスモデルを変革



出版印刷業

総合印刷業

情報加工産業～ 情報コミュニケーション産業

P&Iソリューション

P&Iイノベーション

多様な印刷プロセスを構築し、「P&I」（印刷と情報）の強みを進化
→印刷プロセスに立脚した技術体系の基盤を構築



1877 書籍「改正西国立志編」印刷



1945-49 民間企業として紙幣印刷の一部を担当

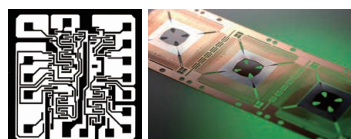
印刷技術の応用・発展で事業領域を拡大する「拡印刷」推進
→「第二の創業」を実現し世界で稀な「総合印刷業」へ



1951 紙器・軟包装分野、建材分野に進出



1958 ブラウン管用シャドウマスクの開発に成功し、カラーテレビの国産化に貢献



1959 トランジスタ用蒸着マスク開発（左）
▶半導体用フォトマスクの事業拡大へ

1964 リードフレーム製造開始（右）

1964 東京オリンピックの印刷物担当

1970 大阪万博でパビリオン9館の出展企画を受託
▶企画関連の事業を拡大

モノづくり&サービス、アナログ&デジタル、リアル&バーチャルなど、DNPならではのハイブリッドな強みの深化で事業を拡大



1972 コンピューター組版システム（CTS）本格始動（左）
1983 ICカードを開発（右）：国内初の書き換え可能ICカードを実用化
▶国内トップシェアの獲得へ
1985 世界初のCD-ROM版電子辞典を開発

1985 昇華型熱転写記録材を開発～生産開始：プリントシール機の普及等により事業を拡大
▶世界トップシェアの獲得へ

1985 液晶カラーフィルター生産技術を開発

1996 独自のEBコーティングによる各種シートの生産を開始

1997 PETボトルのインライン無菌充填システムを開発

1997 ディスプレイ用反射防止フィルムの本格生産開始
▶世界トップシェアの獲得へ

1999 リチウムイオン電池用バッテリーパウチを製品化
▶世界トップシェアの獲得へ

DNP自身が直接社会や生活者に向き合い、社会課題を解決し、期待・ニーズに応える価値を提供する「第三の創業」の実現へ

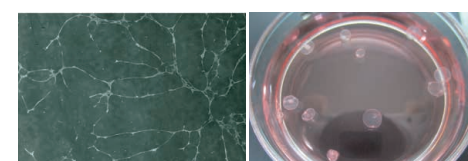
地球環境や人々の健康などに配慮した各種製品・サービスを展開



「DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING®」の展開（上）、抗菌・抗ウイルス製品のラインアップの充実（下）、低反射フェイスシールドや低反射フィルムパーティション等の開発・販売など



※SIAAマークはISO 22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されます。



2004 毛細血管パターンの作製に成功（左）
2017 「ミニ腸」の研究開発に成功（右）▶再生医療分野の事業へ



2018 東京大学と共同で、伸縮自在な薄型ディスプレイを開発：皮膚に貼れるスキンエレクトロニクス



2014 電源無しで内部を長時間一定の温度に保つ「DNP多機能断熱ボックス」を開発
2019 ▶第28回地球環境大賞の「大賞」を受賞



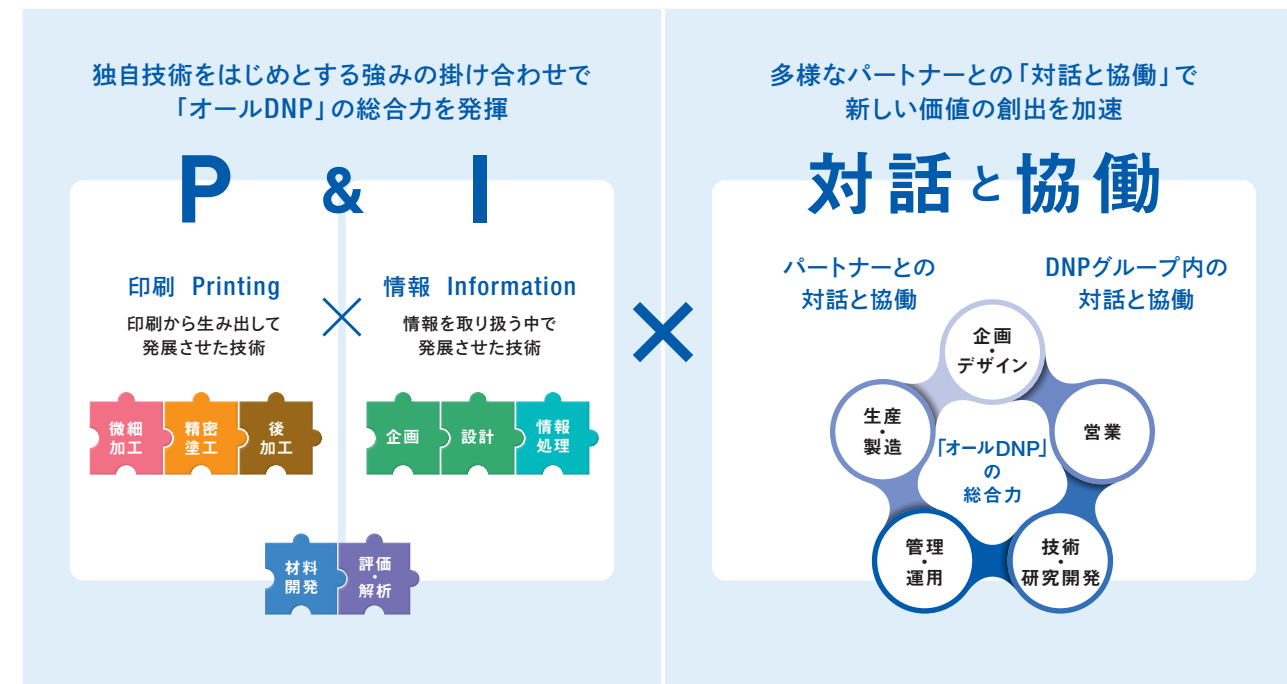
2003 太陽電池用部材を開発
2024 ▶両面採光型太陽電池モジュールの発電量を向上させるシートを提供開始



2017 曲面樹脂ガラスを開発：サンルーフ等に用いて自動車の車体を軽量化

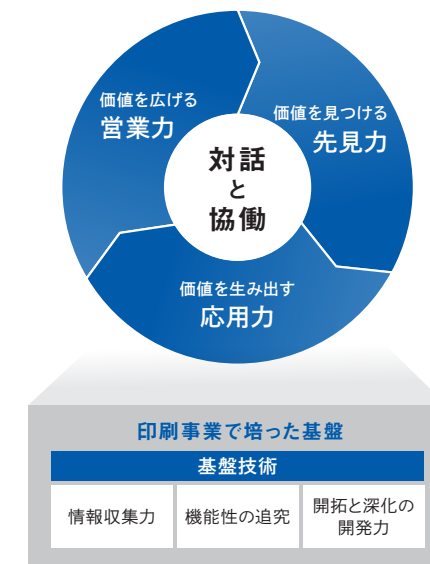
P&Iイノベーション

印刷プロセスから生み出された技術を活かし、トップシェア製品群につなげる



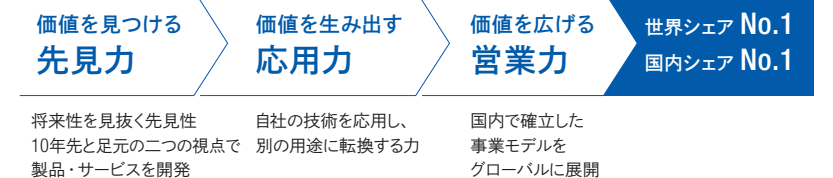
DNPは、印刷プロセスに立脚する多様な独自技術を常に最先端のものに磨くとともに、営業・企画・製造・管理等の強みと掛け合わせて、新しい価値をつくり出していきます。「印刷 (Printing) と情報 (Information)」とともに進化させてきたDNPの強みは他社にはない独自のものです。

また、価値創出のスピードを上げていくため、社外の多様なパートナーとの連携も強化していきます。強みの掛け合わせには無限の可能性があり、「より良い未来」の実現に向けて、「オールDNP」で総合力を発揮していくことで、人と社会に欠かせない新しい価値の創出に挑戦し続けていきます。



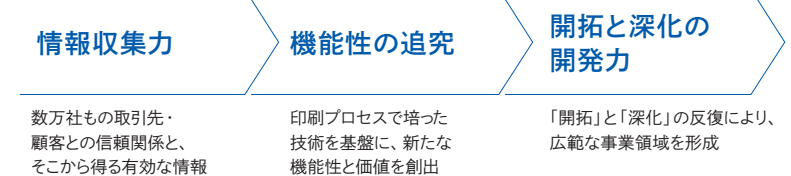
新しい価値を生み出す力

先を読み、自社技術を活用して創出した価値をスピーディに全世界に提供



印刷事業で培った基盤

機能性の高い製品・サービス群、取引先・顧客との信頼関係



印刷プロセスに立脚した技術の応用・発展



製品への発展

- 各種プロセス設計・最適化
- デザイン思考等の各種アプローチ
- RPA (Robotic Process Automation)
- AI (人工知能) の活用 など

- 情報セキュリティ
- XRコミュニケーション事業
- ICカード／決済・認証
- デジタルアーカイブ
- データセンター
- メタバース
- カラーマネジメント
- 秀英体フォント など

- 有機ELディスプレイ製造用メタルマスク
- 半導体用フォトマスク／ナノインプリント用原版
- 各種電子デバイス (MEMS・リードフレーム他)
- 各種セキュリティ関連製品 など

- ディスプレイ用各種光学フィルム
- リチウムイオン電池用バッテリーパウチ
- EBコーティング等による各種機能性フィルム
- 写真プリント用部材
- 包装
- 建材 など

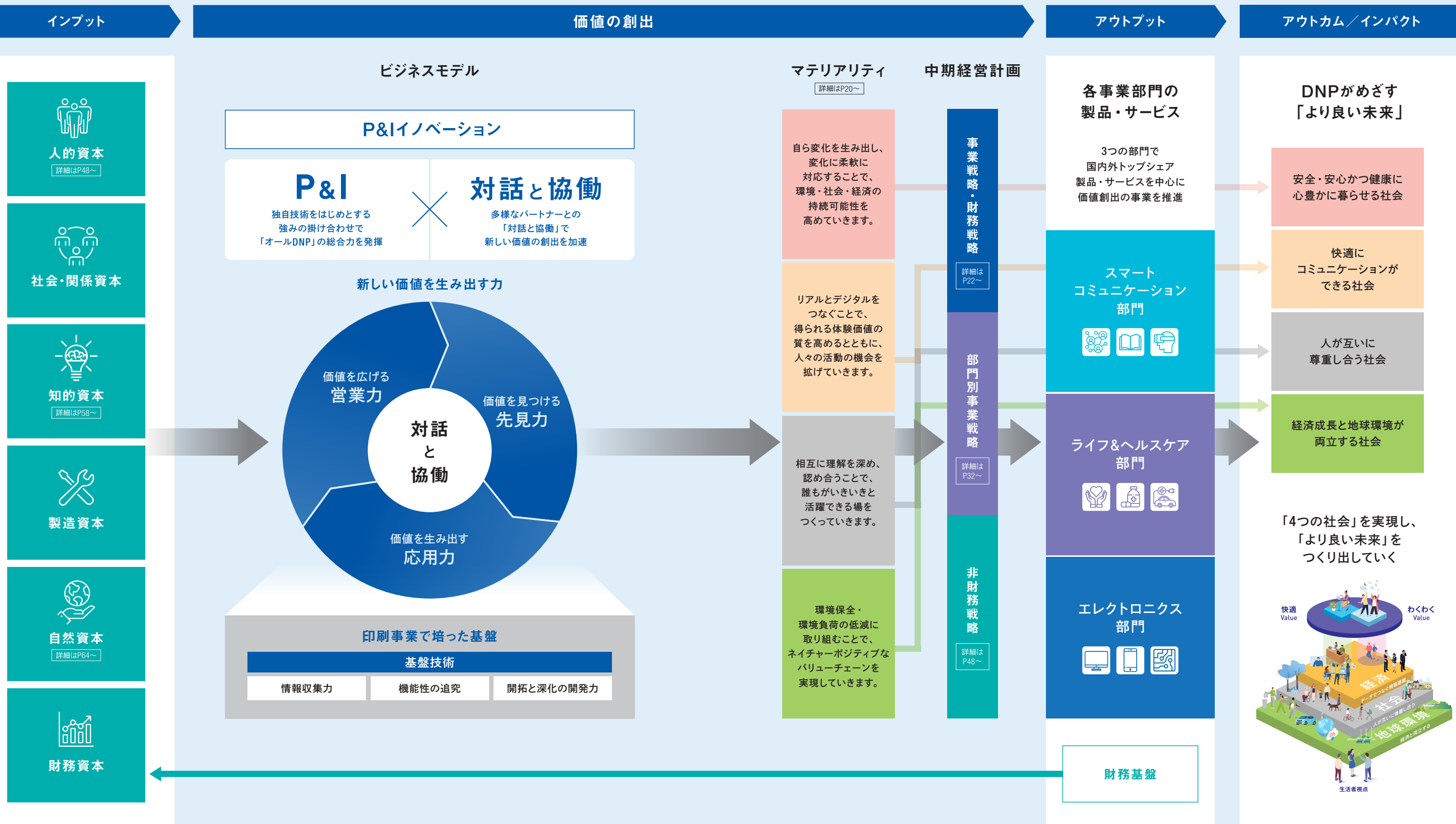
- 無菌充填システム (PETボトル・パウチ等)
- 各種立体容器 (カートン・ラミネート等)
- DNP多機能断熱ボックス
- POP等の販促物 など



価値創造プロセス

P&Iイノベーションにより「より良い未来」と企業価値向上を実現

DNP自身が「より良い未来」をつくり出していくため、常に先を読んで自ら変革を起こし、「対話と協働」によって強みを掛け合わせて新たな価値を創出し、迅速に全世界に提供しています。



マテリアリティ

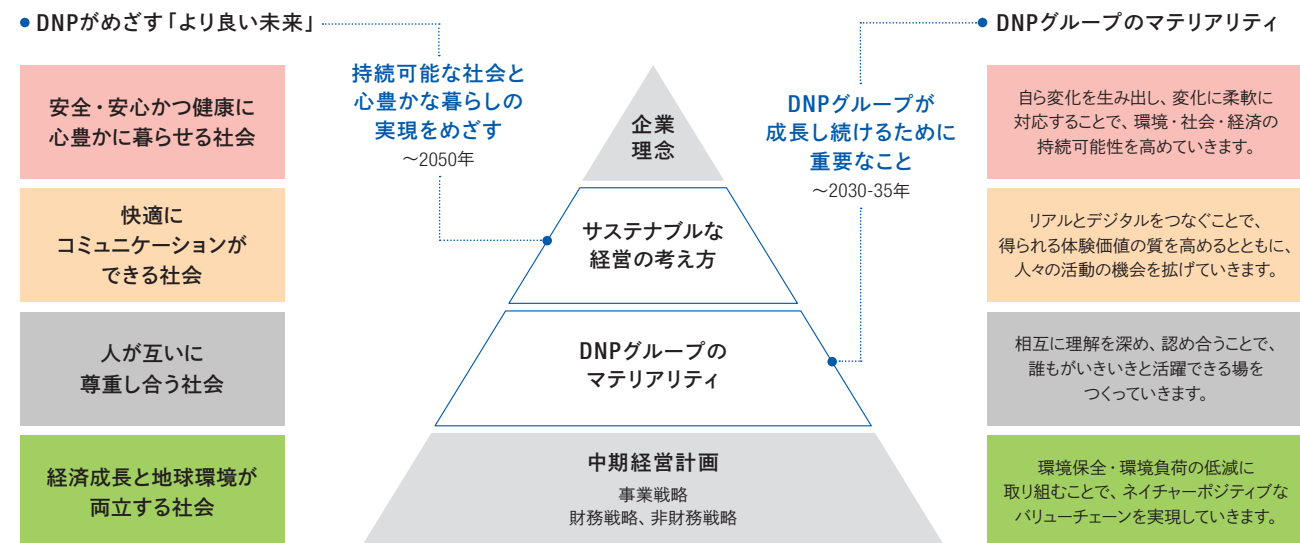
DNPがめざす「より良い未来」の実現に向け、マテリアリティを特定

DNPグループは、企業理念に基づき、サステナブルな経営の考え方として「持続可能なより良い社会、より心豊かな暮らし」の実現をめざしており、自らが主体となって「より良い未来」をつくり出すための事業活動を展開しています。

2024年3月、「より良い未来」としてめざす、それぞれ相

互関係にある「4つの社会」の実現に向けて、2030-35年を見据えて、DNPが何をすべきか、どのような価値をつくり出していくのかを具体化することで、DNPが社会とともに成長し続けるために重要なこととしてのマテリアリティを特定しました。

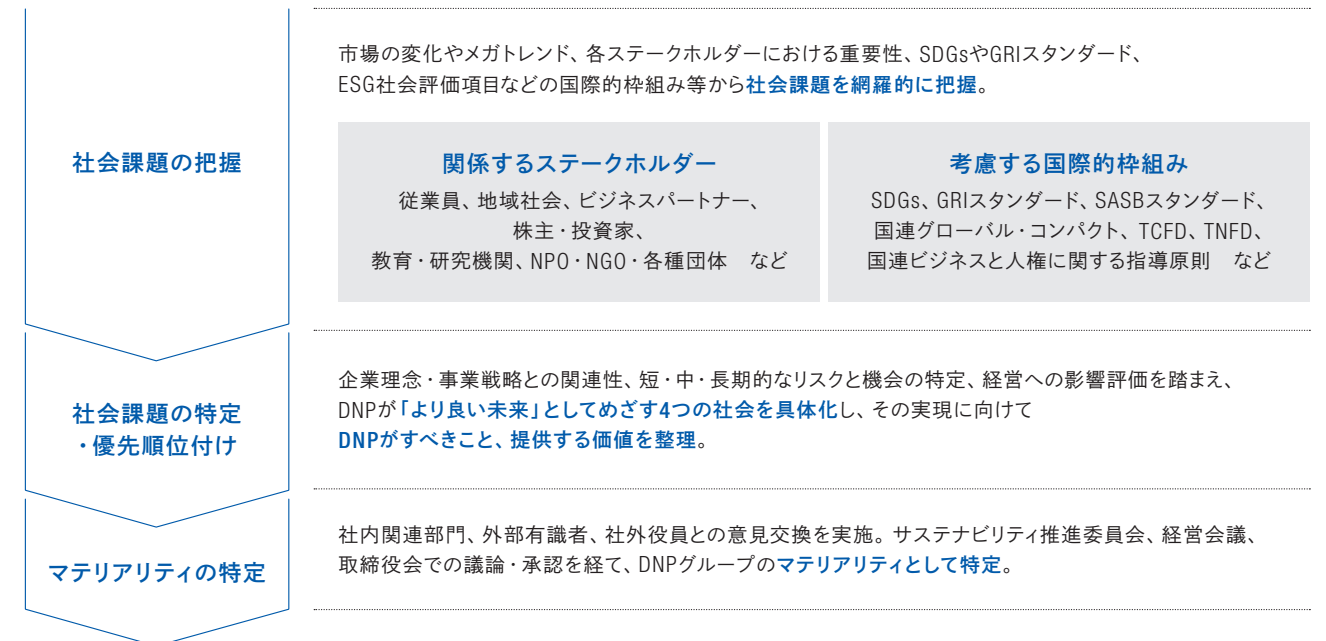
☑ DNPグループの理念体系とマテリアリティ



マテリアリティの特定プロセス

マテリアリティの特定にあたっては、「環境・社会・経済」関連の社会課題やメガトレンド等を網羅的に把握し、自社事業活動への影響や提供できる価値、自社の強みなどから、中長期的なリスク（変動要素）と事業への影響を評価・分析しています。

これらの外部動向を踏まえ、DNPがめざす4つの社会を具体化し、その実現に向けて、DNPがすべきこと、提供する価値を整理し、マテリアリティとして特定しました。



マテリアリティに基づく事業活動

マテリアリティに基づく事業活動として、DNP独自の「P&I」（印刷と情報）の強みの進化・深耕により、注力事業領域を中心に、横断的に新しい価値の創出を進めています。

同時に、企業価値向上と事業競争力強化の両面で、経営基盤の強化とリスクマネジメントの徹底を図り、マイナスの影響を最小化しています。

☑ 抽出したリスク（変動要素）に対する事業活動への影響と事業機会への反映

	事業活動に関連深いリスク（変動要素）	想定される事業への影響	事業機会への反映
経済関連	・市場の変化、新規製品・技術の開発加速 ・DXやグローバルネットワーク等の加速 ・地政学的影響、経済指標の急変動 ・金融・情報インフラの変動 ・資源の枯渇・供給不足・制限 など	・事業構造の変化、新規事業・開発の競争激化 ・AI活用における人権侵害、偽情報の発信 ・景気・消費動向の低迷・急変、需給バランス変化 ・情報セキュリティの脅威の激化 ・安定調達への影響、物価高騰 など	・注力事業領域を中心とした価値創出、パートナー連携強化 ・AI革新による事業化・効率化、AI活用の加速 ・サイバー空間とフィジカル空間の融合 ・信頼性・透明性の高い情報の提供 ・ITガバナンス強化、高度なセキュリティ対策 など
社会関連	・労働力不足、雇用流動化 ・多様性、心地よく生きるための条件変化 ・サプライチェーンのグローバル化、地政学的リスク など	・専門人材確保・育成の困難、人件費の増大 ・価値観の多様化、ダイバーシティの認知 ・人権等サプライチェーンリスクの高まり ・規制強化、地政学リスクによる影響顕在化 など	・強靱な人材ポートフォリオ構築 ・業務効率化による人材不足の解消 ・D&Iの推進、多様な人材活用、労働環境・人権への配慮 ・サプライチェーンの透明化による信頼性向上 など
環境関連	・気候変動による災害の激甚化、水リスクの高まり ・プラスチック汚染・生物多様性の損失の加速 ・ネイチャーポジティブ・カーボンニュートラル・循環経済への移行の加速 ・環境ポジティブな市場拡大、技術革新加速 など	・社会インフラ損壊による操業停止、サプライチェーン寸断 ・GHG排出量等の規制強化 ・リユース・リサイクルの拡大、代替素材切替要請の高まり ・ネイチャーポジティブに向けた事業構造の変革 ・新規事業・開発の競争激化、市場動向変化 など	・BCP・BCMによる自然災害への対応、生産拠点複数化 ・低炭素製品・サービス・代替素材製品の提供、資源の有効的な利活用 ・早期技術開発・製品設計変更による市場拡大 など

DNPがめざす「より良い未来」

DNPがめざす 「より良い未来」		安全・安心かつ健康に 心豊かに暮らせる社会 自ら変化を生み出し、変化に柔軟に 対応することで、環境・社会・経済の 持続可能性を高めていきます。	快適にコミュニケーションが できる社会 リアルとデジタルをつなぐことで、得ら れる体験価値の質を高めるとともに、 人々の活動の機会を拡げていきます。	人が互いに 尊重し合う社会 相互に理解を深め、認め合うことで、 誰もがいきいきと活躍できる場を つくっていきます。	経済成長と地球環境が 両立する社会 環境保全・環境負荷の低減に取り 組むことで、ネイチャーポジティブな バリューチェーンを実現していきます。	
価値の創出	スマート コミュニケーション部門 ● 詳細はP32～	コンテンツ・XRコミュニケーション関連				
	ライフ&ヘルスケア部門 ● 詳細はP32～	メディカル・ヘルスケア関連		モビリティ・産業用高機能材関連		
	エレクトロニクス部門 ● 詳細はP32～	デジタルインターフェース関連			半導体関連	
経営基盤の強化	人的資本の強化 ● 詳細はP48～	社員のキャリア自律支援と組織力の強化／人材ポートフォリオに基づく採用・人材配置・リスキリング 社員の幸せを高める健康経営				多様な個を活かすD&I推進
	知的資本の強化 ● 詳細はP58～	新規事業創出と強み技術の強化／強み技術のグローバル展開／基盤技術の強化と風土改革				DX基盤の高度化
	環境への取り組み ● 詳細はP64～					脱炭素・循環型・ 自然共生社会の構築
持続的な成長を支えるリスクマネジメントの徹底 テーマ：公正な事業慣行、人権・労働、環境、責任ある調達、製品の安全性・品質、情報セキュリティ、企業市民						